

自由民主党 江東区議会議員 けんざき 美彦

討議資料



通信



自民党 Lib Dems
Liberal Democratic Party of JAPAN
<http://www.jimin.jp>

東京都江東区第三十四支部
発行責任者：鋤先美彦

区政報告 Vol.11

2021年1月号



山崎区長への令和3年度予算要望書

おはよう運動

11/27一般質問

2021/01/24

地域で議員要望で実現したこと～改善をお願いしていること



区道緑化



学校感染対策



感染対策避難訓練テント



ダンボールベッド

令和2年は、新型コロナウイルス感染により甚大な被害があり、楽しい地域行事や日常当たり前だった事柄が中止された一年でした。区議会では、多くのコロナ禍対策の取組みを追加の補正予算で協議し実行しました。また、街並みの緑化を進め、未来ある児童・生徒の学校環境を整備し、いつ何時に起こるかわからない災害対応のために学校避難所の運営組織強化と感染防止対策の改善を進めました。引き続き地域の意見をもとに街の活性化に努めます。



ホームページ <http://www.kenzaki-y.com/>
ブログ http://blog.livedoor.jp/kenzaki_y/



けんざき美彦（鋤先美彦）●Profile

昭和34年1月6日 江東区扇橋生まれ

〈学歴〉 江東区立川南小学校、千代田区立今川中学校、京華高等学校、玉川大学工学部

〈職歴〉 東京トヨペット(株)を経て、実家である三孝自動車(株)入社、代表取締役

〈経歴〉 川南小学校、深川第四中学校、京華中学高等学校のPTA会長を歴任し、元青少年委員、青少年対策小松橋地区副委員長、扇橋三丁目災害対策部長、深川消防団第2分団部長、深川八ヶ町防災協議会事務局局長、保護司。

和太鼓指導者など長年、地域・育成活動に従事。平成20年度（教育関係）、平成30年度（自治）区政功労者表彰。

平成23年初当選、平成27年2期目当選、平成31年（令和元年）3期目当選し地域経験を生かし活動中。

自由民主党 江東区議会議員
けんざき美彦

事務所 〒135-0011 江東区扇橋2-21-3 TEL/FAX 03-5634-7855
携帯 080-2152-1302 kenzaki.y.katuyaku2707@docomo.ne.jp
E-mail:kenzaki.y.2707@gmail.com

令和2年度第2回定例会本会議の初日に、自由民主党の代表質問として、区政一般について区長並びに所管理事務者に質問しました。質問ならび答弁を抜粋ですが報告します。

第2回定例会本会議 代表質問（抜粋） 2020年6月10日

〔1〕財政運営について～山崎区長答弁

●財政運営についてお伺いします。

→区民の安全・安心を守る取り組みとして、給付金の支給や医療体制の強化をはじめ、子どもたちの学習環境の整備、商店街や中小企業への支援など、スピード感を持った対応ができたものと考えております。

●特別区民税、特別区交付金をはじめ、今後、当区の歳入への影響をどのように見込んでいるか、お伺いします。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金など、補助金の活用方法についてお伺いします。

→景気への影響が長期化すれば多額の減収は避けられず、区財政に大きな影響が生ずるものと思えます。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、原則、使途に制限がなく、地域の実情に応じて効果的に活用することを国へ直接要望したところであります。前回以上の配分を見込んでおります。

●安全的な財政運営のために、基金や起債をどのように活用していくのか、認識をお伺いします。区の財政計画の見直しが必要であると考えますが、見解をお伺いします。

→財政運営上、基金は緊急時の備えや、将来にわたり安定的に施策を展開していく為、効果的な活用が求められます。

起債については、今年度負担を踏まえ、活用可能なものは有効に活用して、財源確保に努めてまいります。経済成長率と主要経済指標に基づき、改めて財政収支を算出するなど、具体的な財政計画の改訂作業を進めてまいります。



学校感染対策・教室



2020オリパラ施設

〔2〕長期計画の見直しについて

●本庁舎建て替えを目指す庁舎建設基金の設置は、難しい局面を迎えているのではないのでしょうか。

→庁舎建設に当たっては、詳細は未定であるものの、多額の建設費が見込まれることから、長期的かつ安定的な財政基盤が不可欠であると思えます。

●感染症対策と生活衛生の確保の取り組み、保健医療体制の構築の強化についてお伺いします。

→今後のコロナウイルス感染症に関するPCR検査方法の拡充や、ワクチンの開発状況を踏まえ、医療機関との連携を強化してまいります。

〔3〕小中学校授業・学習の環境について

●ICT教育の環境整備が進み、オンライン学習アプリが導入される準備がされました。eライブラリーアドバンス及びスタディーサブリを活用した家庭学習で復習できることや、これらからの課題があればお伺いします。

→予習や復習、過去に遡っての学習にも活用しやすい点が特徴ですが、学校が本ソフトの効果的な活用について十分理解し、家庭の協力を得ながら活用していくことが課題と捉えております。

●協働をしながらお互いに気持ちに寄り添うことができる体験学習は、児童・生徒の育成にはなくてはならない機会です。組体操や演奏や学習や調査学習を発表する機会はないでしょうか。

→通常の体育や音楽の授業等で友達と協力したり演奏したりする活動等の様子を、写真や動画等で積極的に発信していくなど、学校と連携しながらさまざまな工夫をして参りたいと考えております。

●学習内容のおくれを補習するための学習指導員追加や授業の準備を補うスクールサポートスタッフも増員する予定。当区の場合、どのくらいの配置となり、補強される教員等の活用が想定されるかお伺いします。

→教員の補強についてのお尋ねですが、本区では、既に小1支援員やスタンダード強化講師など、独自に確保している人材がおりますので、それらを少人数指導や補習等に効果的に活用することで対応して参ります。

〔4〕災害時における避難所の改善について

●新型コロナウイルス感染防止に努めながら、大地震と大規模水害の際に設営される避難所は、どのようなことを考慮し、避難所管理運営マニュアルに追加協議されていくのか、また、避難所管理運営マニュアルによる感染対策をどのように各学校や地域に伝達していくのでしょうか。

→避難所を確保しつつ、感染症の拡大を防止するための具体策を盛り込んだ対応方針の策定に向け、現在検討を進めております。マスクなど備蓄資機材の情報や、避難所における間隔の確保等について要点をまとめ、マニュアルや分かりやすい文書等での周知を図ってまいります。

●広域な避難所を確保して分散できる可能性がありますが、避難所の分散使用について、公共施設の拡大も含め考えがあればお伺いします。

→文化センターやスポーツセンターなど、区の各施設の活用について検討しております。新たにマスクや消毒液を備蓄いたします。また、非接触型の体温計や、避難スペースを区分けする資材等についても、現在検討を進めております。

●集団感染を防止する対策が急務になっている避難所運営について、組織を改めていく必要があると考えますが、避難所を中心として、地区連携組織の広域な拡大への考えや指針があれば。

→定期的に開催される会議において、避難所運営についてさまざまな検討を頂いております。その体制について改めて検証する必要があると認識しております。実際の避難所運営に当たっては、地域の方々の広域な参画が肝要であると考えております。地区団体との連携については、各学校避難所の運営協力本部連絡会議で、重点課題として検討をいたします。



防災ラジオ



豊洲大橋

令和2年度の役職は江東区議会自民党幹事長の拜命を受けました。

議会運営委員会委員長、区民環境委員会と清掃港湾・臨海部対策特別委員会の所属となりました。

第4回定例会本会議 一般質問（抜粋）2020年11月27日

1. 地域活性の支援について

(1) 空き家再生と起業家支援について

●主な収入を雑所得や給与所得で計上していたフリーランスの個人事業者も対象になる自宅兼事業所への家賃支援給付金が追加されましたが成果は。起業家にオンライン等で情報共有して空き家再生に区として支援できることはないかお伺いします。

→補助対象者を拡充した自宅兼事業所については、約500件、支払額は1億円となっております。なお本事業は区内生鮮食品卸売事業者等に対し、事業者の住所要件を緩和いたします。空き店舗情報はインターネットを通じて、広く活用を公募していますが、商店街とも連携していく必要があると考えます。

●空き店舗の開業等に対して賃料の一部を補助する「空き店舗活用支援」について、告知の問題であり、補助率や補助限度額の再検討が必要と考えますが見解をお伺いします。

→金融機関とも連携し、一層の周知の強化を図ってまいります。経営能力のある店舗が商店街活動に自力で継続して協力していただけの様、地域活性化に向けた企業家支援内容の検討を進めていきたいと考えております。



てづくり市

2. 再生可能エネルギーの利活用について

(1) 認識と見える化について

●「水と緑豊かな地球環境にやさしいまち」を掲げ、「江東区環境基本計画」が推進されてきました。重点的な取り組みや区民協力により「達成」できたことがあればお伺いします。

→区民一人あたりのごみ量やアダプトプログラムなどは、区民参加の周知の浸透によって実績が向上、区報による区民への説明をしており、再エネ機運を高めるためにも、更なる周知を図ってまいります。

●若洲風力発電施設は、耐用年数を考慮した場合、利用価値をどう評価しているのか。「見える化」につとめ、区民が地球温暖化対策に常に関心が持てる社会になるよう行政側の姿勢を強めるべきと思いますが対策についての考えをお伺いします。

→若洲風力発電施設については、設置から16年を経過したところであり、施設のあり方全般を含め、検討する必要があると考えます。「水彩都市・江東」の環境資源として活用していました。費用対効果などを勘案しながら活用を検討してまいります。

●燃料電池自動車（FCV）の普及について引き続き利活用して推進していくことが必要と考えますが見解は。

豊洲市場の千客万来施設が整い来場者が増えることに備え、BRTと連携することで利便性を期待できると考えますが見解は。
→次世代自動車を購入する区民へ費用を助成しています。脱炭素会社の実現へ普及は不可欠であり、引き続き広く周知してまいります。BRTは通勤だけでなく、観光での利用も予想されることから、千客万来施設への集客の効果に資するものと考えます。今後、BRTとの連携については必要な対応を検討します。



BRT

3. 区立幼稚園の教育と環境について

(1) 就学前園児の育成について

●区立幼稚園は定員割れが多くみられます。今後の20園ある区立幼稚園の方向性や教育の効果と「就学前教育スタンダード」の重要性についてお伺いします。

→三歳児保育の需要が高まる中、園児数の減少が続いており、今後計画の見直しも含め、検討すべきものと認識しております。

現在「就学前教育スタンダード」の確実な実施と校種を越えた連携の一層の充実に努めてまいります。

(2) 自然体験ができる環境整備について

●「自然にたっぷり触れられる教育」が進められました。区立幼稚園への自然体験ができる環境整備の施設や準備できる費用について考えをお伺いします。江東区らしさを生かした特色ある教育活動の取組みについてお伺いします。

→現在、「保幼少連携教育プログラム」の大改訂を行っております。園内の近隣の公園等の自然環境を生かし、プロナチュラリストや地域の専門家等を自然探索や野菜の収穫等、区から配当される予算を有効に活用し、様々な自然体験を実施しております。日本伝統文化に触れる活動を地域と一体化となって進めるほか、地域の公園での自然体験等を積極的に取り入れております。

(3) 適正配置と3年保育について

●こども園に設置変更することは発表しました。具体的なスピード感を持って早期に計画を変更し、3年保育の実施を考えていくべきだと思います。預かり保育の状況から待機児童解消への補完になると考えますが方向性をお伺いします。

→今年度から開始した三歳児保育及び預かり保育が、待機児童解消の解消に一定の効果を挙げており、保護者のニーズも非常に高いことは認識しております。さらなる適正化など計画全体の見直しについて今後検討を進めて参ります。



ボルタリングウォーク



区立幼稚園

決算審査特別委員会にて幹事長として総括質問をさせていただきました。
江東区議会HP（インターネット中継）をご覧ください。



1. 行政改革計画について

● 新型コロナウイルス感染症対策について

令和元年2月から新型コロナウイルス感染への新たな難題について迅速に区民ニーズに合致した取組みを改めてお聞きします。

● 効率的な取り組みの施策について

民間委託の指定管理者制度の導入について拡大していくのか区民ニーズに従って何処まで推進していいのか考えをお伺いします。

2. 決算の算入・歳出について

● 歳入について

引き続き自主的な財政運営ができる一般財源について確保できる要因はあるのでしょうかお伺いします。

● 歳出について

公共施設の具体的な計画遂行の予定があればお伺いします。
令和2年度でも投資的経費として増額されていくのでしょうか。
投資的経費についての考えをお伺いします。

3. 基金区債について

中長期的な視野で基金と起債を適切にすることについての運営面での考えをお伺いします。

4. 避難所訓練について

● 避難所運営マニュアルの開示について

マニュアル等の情報を学校避難所運営本部を通してどのように伝達され開示されていくのか見解をお伺いします。受付時の検温・問診や感染疑いへの専用スペース区分けや動線へ検討された結果についてお伺いします。

● 無人飛行機（ドローン）の活用について

災害時のドローン使用は、試験飛行まで実践段階に至っているのか、具体的な施策の状況をお伺いします。

5. 「こうと学びスタンダード」ネクストステージについて

「就学前教育スタンダード」は区立幼稚園だけでなく幼児教育全体に浸透され、各家庭での取り組みが必要です。家庭での取り組みについて考えをお伺いします。

議員トピックス



夏越の祓い 6/30



家庭倫理の会 7/12



川南和太鼓クラブ 10/3



まつぼっくりマルシェ 10/25



御岳山ロックガーデン 10/4



中川西正一前町会長の慰労会 11/12



扇橋寄席 12/6



深川八ヶ町防災協議会 12/9

夏越の祓い 6/30

例年通り厄落としのために、多くの地域の方々が宇迦八幡宮の茅の輪くぐりをしていただきたく、当番町会で境内に設置しましたが呼びかけもなかったので参加者は少なかったです。平和を祈り町会の総代として大祓させていただきました。

家庭倫理の会 7/12

会の活動で月一回ですが亀戸駅前清掃を実践しています。9月に辞令交付式があり、広報委員長の拝命を受けました。倫理活動も自粛ぎみで広報誌作製の記事が少なく苦労します。

川南和太鼓クラブ 10/3

コロナ禍で盆踊りやお祭り含めたイベントがないので発表の機会がなくなりましたが、10/1から体育館使用が解除されたので練習を再開、頑張ってくれていた6年生のためにも、発表している3曲を収録することになり熱のこもった指導になりました。

まつぼっくりマルシェ 10/25

和太鼓クラブ発表の機会をいただいている放課後ディサービスの江東ウィズ主催「ふれあいまつり」の代わりに、住吉一丁目集会所でまつぼっくり教室主催でマルシェが開催されました。開催における協議の過程でアドバイスさせていただいたので、感染防止に努める入場警備の手伝いもさせていただきました。

中川西正一前町会長の慰労会 11/12

地元扇橋三丁目の町会長を6年間務められた中川西前町会長は、小松橋地区連合町会会長（4年間）や深川防火防災協会会長（現役）などを歴任され、多大なる地域貢献に尽力されています。本当にご苦労様です。深川八ヶ町連絡協議会の気さくで仲良しの町会役員連で、暖かい春にお疲れ様会のお祝いをする予定でしたが、立冬になったので慰労会となりました。久しぶりに再会した町会長連と和やかな宴席となりました。

扇橋寄席 12/6

感染防止対策（79名定員・消毒）を整え恒例の町会主催の「扇橋寄席」が実施でき、地域の方々と笑顔あふれる機会となり古典落語を堪能しました。久しぶりに司会も担当させていただき、青年部仲間の燕路師匠はじめ出演者と楽しいひと時を過ごすことができました。

深川八ヶ町防災協議会 12/9

2/14（日）に予定している合同防災訓練（扇橋小・川南小で同時実施）に向けて、各町会長・防災担当者が集い進行内容について協議しました。一時避難所からの参集訓練と感染防止に努めた避難所用テントとダンボールベットの設置訓練の準備を進めます。各学校の避難所運営協力本部やPTA、関連施設と消防団が共に協力して、地域防災組織を強化していきます。